

重症心身障害児(者)の適応行動評価

名前:

検査日:

評価者:

()内にいずれかを付け、空欄はなし

×: 見られない △: 時々あるいは不十分に見られる ○: 常にあるいは十分見られる ー: 判定不能 (視力障害のため視覚行動が判定できない場合など)

I. 対人関係

人の認識

- 1 () 人に対し関心がある。*注視・追視がある、動作が停止するといった反応から判断する。
- 2 () 特定な人に対して、他の人とは区別した特別な反応を示す。*注視時の表情が違ふ、注視時間が長いなどから判断する。自分にとって特別な意味を持つ人(母親、施設職員など)がいるという意識がある場合を指す。
- 3 () 見知らぬ人に対して、いつも身近にいる人とは違ふ反応(警戒あるいは関心)を示す。*訪問者が自分の周りに来て不安になる。これは、不審者であるという認識がなければならぬ。

感情の表現・理解

- 4 () 不快や嫌悪の感情が、表情や姿勢の変化から示される。*身体的な原因による苦痛や、覚醒水準の変化による(寝ぐずりなど)と解せられる場合は除く。ただし、何に対する感情かは確定されなくてもいい。
- 5 () 快の感情が、表情や姿勢の変化から示される。*何に対する感情かはわからなくてもいい。
- 6 () 特定の事態や事物に対し、不快や嫌悪の感情が、表情や姿勢の変化から示される。*この感情をもたらすきっかけははっきりしていなければならないが、どうしてかは確定されなくてもいい。
- 7 () 特定の事態や事物に対し、快の感情が、表情や姿勢の変化から示される。*この感情をもたらすきっかけははっきりしていなければならないが、どうしてかは確定されなくてもいい。
- 8 () 特定の事態や事物に対し、恐怖の感情が、表情や姿勢の変化から示される。*単なる不快以上の拒否の意志があると判断されねばならないが、どうしてかは確定されなくてもいい。
- 9 () 親愛の情を示す他者の行為(微笑みと声掛け、撫でるなど)に対し、笑顔で反応する。*単なる快以上の好意的感情が、特定の人(母親、施設職員など)の特定の行為に示される場合を指す。
- 10 () 自分の特定の行為に対し、他者から向けられた怒り・叱責の感情を理解する。*自分の行為がきっかけに起こった他者からの否定的な反応に不安・狼狽の表情を示す。
- 11 () 自分の特定の行為に対し、他者から向けられた賞賛・厚意の感情を理解する。*自分の行為がきっかけに起こった他者からの肯定的な反応に対し、快・満足の表情を示す。
- 12 () 自分が直接関係しない状況で、複数の他者が親密な関係にあるか、険悪な関係にあるかは区別できる。*他人が喧嘩していると不安な表情となり、他人が仲良くしていると微笑むといったことが確かに見られる。
- 13 () 自分が直接関係しない状況での他者の喜びと悲しみに対し、喜びと悲しみの共感の感情が表される。*テレビ・ビデオ・演劇の登場人物にとって、嬉しいことと悲しいことが確かに区別されるようなことを指す。

II. 受容(コミュニケーション)

聴覚・言語

- 1 () 音や声に注意を向ける。*音源の方向に顔か目を向ける、動作が止まるなどの反応から判断する。単なる驚愕ではいけない。
- 2 () 母親やある特定な人の声は聞き分けて、その声に注意を向ける。*視野外で、その存在を認識していなければならない。
- 3 () 自分に対する呼びかけに反応する。*声に対する単純な反応ではなく、自分に向けられたものであることは認識していなければならない。その場の自分以外の人に対する声掛けとは区別されていなければならない。必ずしも、名前と呼ばれなくても、特定の人の特声掛けでこの反応が得られればいい。
- 4 () 「だめ」(禁止)の指示が、指示者の叱責が加味されて理解される。*指示者の強い声の調子、ジェスチャー、とがめる表情が一体となっている。
- 5 () 「だめ」(禁止)と「いい」(許諾)が、主として言語指示で区別される。*自然に伴う声の調子、ジェスチャー、表情が、指示に加味されていてもいい。
- 6 () 不特定な人から、名前(決まった愛称でもいい)と呼ばれて反応する。*自分の名前の理解を理解している。
- 7 () 「ご飯」「さよなら」「おやすみ」などの簡単な日常生活語がひとつはわかる(ただし、5語以内)。
- 8 () 簡単な日常生活語が、いくつか(6語以上)はわかる。

ジェスチャー

- 9 () 指差しに反応して、その方を見る。*指先の延長上の空間認識がある。
- 10 () バイバイ、おいで、ちょうだいのような身振りの意味を理解する(少なくともひとつはある)。

Ⅲ. 表出 (コミュニケーション)

表情・ジェスチャー

- 1 () 外界に**注意**を向けていることがわかる。*それまでの動作が停止する程度でいい。
- 2 () 特定の物や人を**注視**したり、目で追ってゆくことにより、**関心**があることを示す。*視線の表出がある。
- 3 () 他者に自分の**関心事**を訴え、**要求**(具体性は乏しいが)を伝える。*あれを取ってくれとか、これをしてくれとか、要求しているように思える目つき・発声・しぐさをする。
- 4 () 問いに対し、イエスかノー(同意か反対)を意味する**身振り**(頸の動きを含めて)をする。*問いが理解されている状況で、イエス・ノーの意味が明確に表されている。
- 5 () 見える物に対し二者択一を求められた時、目つきや動作で、**選択**を伝える。*二者択一の意味は理解されていなければならない。
- 6 () 「バイバイ」「ちょうだい」のような意味をもった**身振り**をする(少なくともひとつはある)。*イエス・ノー以外の意味のある身振りをする。運動障害のため、健常者とは違う身振りになっていてもいい。

発声・言語

- 7 () 快・不快の感情に対応して、多様な**発声**がある。*何が快・不快の感情をもたらしているか、はっきりしていなくてもいい。
- 8 () 注意を引くための**発声**を行う。*注意を引く相手は明確にされていなければならない。同時に体動・身振りを伴っていてもいい。
- 9 () 母親や介護者なら理解できる**言葉**をひとつは言う(ただし、5語以内)。*単音でも意味を持っていればいい。
- 10 () 簡単な**日常生活語**を、いくつか(6語以上)言う。

Ⅳ. 興味・楽しみ

- 1 () 抱かれたり、特定の**揺らされ方**を好む反応が見られる。*年長者では、エアートランポリン・ブランコなどを指す。
- 2 () 特定の物の**感触**(触覚・風など)を好む反応がみられる。
- 3 () 特定の**音・テンポ・メロディ**を好む反応が見られる。
- 4 () 特定の物を、さわったり動かすなど**操作**して楽しめる。*音を出して喜ぶなどの意識性がある場合を指す。
- 5 () 見て好きな**キャラクター**がある。*ビデオや印刷物などの幼児用のキャラクターだけでなく、芸能人でもいい。
- 6 () テレビ**番組**・ビデオなどで、視聴して楽しめる物がある。
- 7 () 複数の人でやりとりする遊び(**ゲーム**)に関心がある。*直接参加できなくてもいいが、一定のルールへの理解は必要。

Ⅴ. 日常生活

食事

- 1 () 食べたいという意志表現をする。*食物や食器への視線の表出があればいい。
- 2 () 食べ物がのったスプーンが口の前に出されたら、協調して口を開き取り込む。

排泄・衣服着脱

- 3 () 尿・便が出たら、様子が変わる。
- 4 () 尿意・便意を表出し、覚醒時はオムツがいらぬ。
- 5 () 衣服の着脱に協力する。*運動障害のため効果的でなくてもいい。

移動・外出

- 6 () 家や施設内での居場所の違いがわかる。
- 7 () 外出時いつもと違う場所にいることがわかる。
- 8 () 自分の外出の準備を理解し、外出を予想する反応がある。
- 9 () 車で外出時、行く先を予想している反応(期待あるいは嫌悪)がある。

危険予測

*通常経験されないことなので、かつて偶然起きてしまった事例から判断する。

- 10 () 主な介護者(母親、施設職員など)が離れる時、不安の反応が明らかにみられる。
- 11 () 危険な物・人(避けられない大きさ・速さがある)が近づいてくると、不安・恐怖が表される。
- 12 () 高い所や不安定な所に置かれて、転落・転倒の不安・恐怖が表される。